

医学部

学部のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

<教育理念と教育目的>

『患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療』という医学部開設の基本理念に基づき、教育目的を次のように定めています。医学部においては、愛媛大学学則及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、医学・看護学における専門的知識や優れた技術を授け、深く医学・看護学分野の学芸を教授研究するとともに、豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を備えた医療人を育成することにより、最良の医療、保健、福祉を通して社会に貢献することを目的としています。

<学習の到達目標>

(知識・理解)

- 1-1. 医療人としての専門分野の学問内容について知識を修得している。
- 1-2. 人間性や倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけている。

(思考・判断)

- 2-1. 対象となる人の身体的・心理的・社会的な健康状態を科学的に評価し、情報の総合と適確な判断を行い、必要な行動を示すことができる。

(興味・関心・意欲)

- 3-1. 科学の進歩および社会の医療ニーズの変化に対応して、生涯を通して自らを高めることができる。

(態度)

- 4-1. 患者および住民の健康の維持・増進と健康障害からの回復に寄与するために、医療人として責任をもった行動をとることができる。

(技能・表現)

- 5-1. 基本的な医療行為を患者にも自らにも安全に実施することができる。
- 5-2. 患者・家族や保健・医療・福祉チームのメンバーと良好なコミュニケーションをとり、チームの一員としての役割を果たすことができる。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

(カリキュラム・ポリシーについてはそれぞれの学科のページをご覧ください。)

学部のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

愛媛大学医学部では、愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学・看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学部では次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・思考力・判断力・表現力)

1. 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
2. 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

3. 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
4. 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
5. 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
6. 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、様々な人と協働して良好な関係を保つことができる。